

平成28年度事業報告書

28年4月1日から29年3月31日まで

特定非営利活動法人 3keys

1 事業の成果

平成28年度は引き続き、東京都や神奈川県にある児童福祉施設（以下、施設）などに入所している子どもたちや、退所後の子どもたち約121名に対して継続的な学習支援を行いました。そのうち、計8名（高校受験5名、大学などの受験3名）が受験を目標として掲げ、無事全員が合格を果たすことができました。受験以外にも日常の学習・学校のフォローなどを通じて、学習が遅れやすい環境にいる子どもたちの支援を行いました。

また、施設の外にいる、虐待や貧困などで孤立し支援を必要としている子どもたち向けに「なやみ相談窓口」の運営と、10代向け支援サービス 検索・相談サイト「Mex（ミークス）」の東京版の開設・運営をしました。「なやみ相談窓口」では、昨年度の約7倍の40名の子どもたちの悩みへの相談対応・支援機関への橋渡しを行いました。支援員の人数に対して、相談数が多く、一人ひとりに丁寧な対応をすることができないと判断し、一時新規受付を閉鎖せざるを得なくなりました。「Mex（ミークス）」の立ち上げでは、約1年間の運営で50,000名以上がサイトに訪れ、内、約1,500名が掲載されている支援機関につながりました。東京以外からの利用もみられ、東京に限らないニーズを実感し、28年度は対象エリア拡大のための準備・調査も進めました。どちらの支援からも、周りに相談ができる人がいない孤立した子どもたちの多さ、また切実さを実感し、事業の必要性を痛感しました。

啓発活動では社会全体の子どもへの現状への認知が高まったことを受け、当法人でも引き続き積極的に講演やメディアでの発信を行いました。これまでは興味・関心を持ってもらうための啓発がメインでしたが、社会全体の変化を受け、28年度は興味を持っている人が理解を深めたり、できることを増やすためのヒントになるような啓発を心がけました。

その他、法人全体としてはこれまでの活動や実績が認められ、寄付金控除の対象となる認定NPO法人格を取得することができました。さらに、職員やボランティア、支援対象が増えたことを踏まえ、オフィスの移転も行いました。今後、子どもたちへの支援を加速していくための基盤が整った1年でもありました。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額 (千円)
格差の下にいる子どもたちをはじめとする、学習機会や学習環境に恵まれない子どもたちのために、学習指導を行うボランティアを育成しマッチングする事業（通称：学習支援事業prèle）	1. 児童福祉施設向けの家庭教師派遣「家庭教師型プログラム」 ・主に中高生向けに目標や悩みにあったボランティア家庭教師（以下、チューター）のマッチングによる派遣 ・指導開始後のチューターへの継続的なフォロー ・チューターとなるボランティア「まなボラ」の登録会開催 ・「まなボラ」のボランティア保険加入・登録情報の更新	1. 通年 （登録会開催日：28/4/23, 5/28, 7/10, 9/11, 11/26, 29/1/15, 3/4） （計7回）	1. 東京都、神奈川県	1. 常勤1名、非常勤1名、ボランティアスタッフ28名、チューター40名	1. 12児童福祉施設（利用した児童数48名）、28年度登録者参加者160名（内、登録者133名）、28年度延べ登録者数411名	6,102
	2. 児童福祉施設向け放課後教室運営「教室型プログラム」 ・主に小学生向けに基礎学力の向上を目的とした教室の運営またはサポート ・Salesforce.orgのボランティア制度を活用し、平日の夕方の時間帯の安定的な人員確保	2. 通年	2. 東京都	2. 常勤1名、ボランティアスタッフ2名、チューター3名、期間限定プロボノ17名（内、Salesforce社員12名）	2. 3児童養護施設（利用した児童数73名）	

<p>子どもたちに必要な社会資源をコーディネートし子どもたちの自立及び権利保障を充実させる事業（通称：子どもの権利保障推進事業 vine）</p>	<p>1. なやみ相談窓口 ・頼れる人が身近にいない主に10代のオンライン相談窓口の運営 ・メールや電話での相談および必要に応じて面会や支援機関への橋渡しなどの実施</p> <p>2. 10代向け支援サービス検索・相談サイト「Mex（ミークス）」 ・28年4月東京版オープン ・東京版掲載サービスの募集・掲載（延べ59サービス掲載） ・主にgoogle及びTwitter広告を活用した10代向けのサイトの広報活動 ・継続的なお問い合わせ対応 ・利用状況の報告（第14回目 Child Issue Seminar内） ・全国版の準備及び掲載サービスの募集開始</p>	<p>1. 通年（9月～12月 新規受付閉鎖）</p> <p>2. 通年</p>	<p>1. 全国</p> <p>2. 東京都</p>	<p>1. 常勤1名、ボランティアスタッフ2名</p> <p>2. 常勤2名、非常勤1名、ボランティアスタッフ6名、期間限定プロボノ2名</p>	<p>1. 40名（年度内、平均対応期間：20日/名）</p> <p>2. 閲覧数131,800PV、利用者数53,739UU、支援機関につながった数1,529件</p>	<p>12,875</p>
<p>日本の子どもたちの現状や、それを取り巻く社会の現状を広域的に周知するための、啓発活動及び広報活動（通称：啓発活動事業 伝える・変える）</p>	<p>1. 「Child Issue Seminar」の開催 ・第13回目「支援現場から見える子どもたちのSOS」（講師：千葉県鑑別所 所長/法務技官 小林 万洋氏） ・第14回目「人に言えない悩みを抱えた子どもたちの、今」（講師：国際ビフレンダーズ 東京自殺防止センター前所長 村 明子氏 / NPO法人 ReBit代表理事 薬師 実芳氏）</p> <p>2. その他、講演・執筆をはじめとした啓発活動 ・講演回数 25回 ・メディア掲載 34回 ・年次報告会開催（第13回 Child Issue Seminar内） ・Facebook広告を活用した広報活動 ・第30回人間力大賞での啓発活動</p>	<p>1. 第13回目 28/7/30</p> <p>第14回目 29/2/22</p> <p>2. 通年</p>	<p>1. 東京都</p> <p>2. 全国</p>	<p>1. 常勤1名、非常勤1名、ボランティアスタッフ5名、期間限定プロボノ7名（内、Salesforce社員4名、日本マイクロソフト社員3名）</p> <p>2. 常勤1名、非常勤1名、ボランティアスタッフ9名、期間限定プロボノ3名</p>	<p>1. 212名（申込者のみカウント）</p> <p>2. 2310名（講演参加者のみカウント）</p>	<p>7,503</p>

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	事業費の金額 (千円)